

会場／美術館 ギャラリー・ミレー 〒930-0044 富山市中央通り2丁目1番20号 TEL:076-423-7220
開館時間／10:00～17:00(入館は16:30まで)
入館料／一般 300円、高大生 200円、中学生以下 無料
休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日を除く)、メンテナンス等の休館有り

高崎勉 写真展

家路

美術館

ギャラリー・ミレー

2024. 8. 24 SAT

2024. 11. 17 SUN

Photographer
TSUTOMU TAKASAKI Solo Exhibition
GOIN' HOME

家路

高崎勉
写真展

2024. 8.24 SAT

2024.11.17 SUN

Photographer
TSUTOMU TAKASAKI Solo Exhibition

GOIN' HOME

1日の始まりがルーズな広告業界の流れに逆らって、僕の朝は早い。未だ子供が小さかった頃、絵本を読み聞かせているうちに自分も寝てしまった早寝の習慣が抜けなまま今に至っている。朝6時過ぎにはアトリエに入り商業撮影のセッティングを始め、遅くとも10時には立ち会いのクライアントが集まる。始業が早い分、黄昏時には家路につくことが多いのだが広告写真から離れた僕のプライベートワークはこの時間帯にアイデアが生まれることが多い。

公園のスピーカーから少し音程の狂ったドヴォルザークの「遠き山に日は落ちて」をBGMにカメラをぶら下げて歩いていると、400km離れた故郷の空が群青色から漆黒に変わってゆく様を思い出す。東京で写真活動を始めてもうすぐ40年。ご縁あって子供の頃から慣れ親しんだ中央通りのギャラリー・ミレーという素晴らしい舞台で作品展示をさせていただく機会を得た。被写体となる風景や出来事は富山から離れたものばかりだが、故郷での遠い記憶がフィルターとなって今も作品に影響を与えていることをきつと感じ取ってもらえるだろう。

写真家 高崎 勉

1967年富山市生まれ。東京工芸大学短期大学部卒業後、株式会社アマナにて12年間フォトグラファーとして勤務し、200社以上の大手クライアントの広告撮影を手がける。1999年高崎写真事務所設立。以降、広告撮影と並行してアーティストとしても活動。「毎日広告デザイン賞 発言広告の部 最高賞」はじめ受賞多数。東京工芸大学芸術学部写真学科非常勤講師(商業撮影ゼミ)、Abox Photo Academy代表、日本写真芸術学会会員。



会場 / 美術館 ギャラリー・ミレー 〒930-0044 富山市中央通り2丁目1番20号 TEL.076-423-7220

開館時間 / 10:00~17:00(入館は16:30まで)

入館料 / 一般 300円、高大生 200円、中学生以下 無料

休館日 / 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土日を除く)、メンテナンス等の休館有り



Facebook



Instagram

『guntio』

『silhouette』

『蒼い霧と仄かな光と』

『流され、転がり、丸まり、繋がる。』